

ポロニア

ポロニアは県花「桐」の学名です。

発行／岩手県高等学校PTA連合会

【事務局】盛岡市上田三丁目2-1 TEL(019)625-6386
E-mail iwa-koupren@aroma.ocn.ne.jp FAX(019)613-7795

令和6年度 県高P連 定期総会・研究協議会開催



▲川上会長挨拶

令和6年度
の岩手県高等
学校PTA連
合会(以下、県
高P連)定期
総会および研

究協議会は、6月5日にサンセール盛岡にて開かれました。県内64校から216名の会長や校長、事務局長などが参加したほか、来賓として岩手県教育委員会生涯学習文化財課の小澤則幸総括課長や岩手県高等学校長協会の高橋一佳会長、岩手県PTA連合会の山下泰幸会長などが招かれました。

今年度は93名の方が個人表彰を受け、第28回広報紙コンクールは盛岡北高校が最優秀賞に選ばれました。受賞者代表挨拶は久慈工業高校の蒲野隆PTA会長が務め、「昨年はめまぐるしい一年だったが、皆さんに支えて



▲表彰状授与

いただいたお



▲岩手県教育委員会
生涯学習文化財課
小澤則幸総括課長



▲岩手県高等学校長協会
高橋一佳会長

かげで受賞できました」と、感謝の気持ちをはじめました。議事においては、盛岡第二高校の藤澤秀行PTA会長が議長に就任。昨年、改正された会則第13条に触れ、「会議はすべて会長が招集し、構成員の過半数の出席をもって成立することから、本総会が成立することが報告されました。

その後、事務局より会務報告や各委員会の活動報告、令和5年度の会計報告および今年度の行事予定、予算案などが提案されました。昨年度の委員会活動では、健全育成委員会と母親委員会が臨時で合同会議を開催。今年度から両委員会が統合するため、新体制に向けた準備として行われました。今後は「母親会員交流会」を「保護者つながる交流会」と改め、9月25日に初開催を予定しています。PTA会員の交流の場として活発に活動する予定で、ぜひ多くの会員に参加してほしいと呼びかけました。

なお、4月1日より福岡工業高校と二戸高校が統合して北桜高校となりました。それに伴い、会則第7条に記載された県北地区の学校数と校名が変更されています。それらを含めて、全ての議案が参加者の賛同を得て承認されました。総会後に行われた研究協

〈講演〉

演題 子ども達「二人ひとりを大切に」を実現するために
「人権の観点から保護者と学校が共に取り組むべき課題を考える」



講師
畠山 将樹氏
(南部富士法律事務所・弁護士)

県職員を経て、平成23年から弁護士として活動を始めた畠山氏。県内の学校でいじめに関するものや法教育の授業を担当するほか、現在は県教育委員会の教育委員も務めています。今回は「二人ひとりを大切に」とはどういうことなのか、という切り口で講演いただきました。

日本は憲法の中で、人間らしく生きるための基本的な人権が尊重されています。教育の分野でも、教育基本法や学習指導要領に「個人の尊重」が記載されています。しかしその一方で、日本の高校生は他国と比べて自己肯定感が低いという調査結果も出ています。

そんな中、昨年は「子ども基本法」が施行され、子どもの権利を守る義務が明示されました。畠山氏は、「今後は学校も校則の見直しや働き方改革などを進め、個人が尊重される環境を築かなければならない」と語りました。

力をお願いします」と語りました。研究協議会終了後は、会場を移して教育懇談会を開催。高教組の村上智加子執行委員長による乾杯の後、和やかな雰囲気で行われました。

血液は、人工的に作ることも長期保存もできません。そのため手術や治療で血液が必要な場合に備えて、一人でも多くの人が献血を習慣づけることが理想です。西海枝氏は、「県内には、盛岡に予約可能な献血ルームがあるほか、各地を回る献血バスもあります。ぜひご協



がんばる岩手

共に 一関工業高等学校 前PTA会長 佐藤 康弘

岩手県学生会館入寮生募集

～初めての東京生活を支える安心の寮生活～



【会館施設概要】

●所在地
〒171-0043
東京都豊島区要町
2-5-5
JR池袋駅まで徒歩15分、東
京外口要町駅 徒歩5分

●資格

岩手県出身者で大学院、大学、短期大学、
専門学校等に通学する人

●寮費(令和7年4月1日より改定)

月額90,500円(朝夕2食・自治会費含む)
入寮時諸経費 入 寮 金60,000円
寮維持資金60,000円

●室内 洋室13.5㎡(全室個室)

●設備 机、本棚、ベッド、クローゼット、洗面化粧台、
冷暖房器等

【申し込み・問い合わせ】

公益財団法人 岩手県学生援護会(岩手県学生会館内)

TEL:03-3972-4783

※募集要項、申込書類はホームページから

<http://www.gakuseikaikan-iwate.or.jp/>



本校では、
地域産業講座
や出前授業な
どに取り組み
地域住民や地
元企業と連携
した活動を積

極的に行っております。そのような取り組
みが評価されキャリア教育優良に選ばれ
文部科学大臣賞を受賞しております。
この様に、様々な取り組みを行う生徒
達を応援すべく、私たちPTAも一年を通
して活動しております。令和5年度の活
動として、広報委員会が年二回発行する
PTA会報は、この3月で第100号発行
となりました。健全育成委員会は、秋の
全国交通安全運動期間に当たる9月下旬
登校時一声運動・マナーアップ運動を行
いました。天候不良ではありましたが、「お
はようございます」と元氣よく挨拶してく
れる生徒達の笑顔で、参加した役員達の
心は晴々とし、とても気持ちよく活動す
ることができました。母親委員会は、恒例と

なっている関工祭で、おでん販
売を行い完売しました。他に
も、他校との交流会や研修会
に積極的に参加し、多くの学
びがありました。
結びに、保護者の皆様、先



▲PTA挨拶運動(健全育成委員会)



▲PTA会報第100号(広報委員会)



▲県南地区母親委員交流会(母親委員会・PTA理事)



▲PTA・母親委員合同模擬店(関工祭)

生方、今後とも協力して頂き、
生徒達を共に支え応援してく
ださいます様、宜しくお願
いいたします。

請求なければ支払いなし

(一社)全国高P連賠償責任補償制度

PTA単位で加入する制度で発足後 23 年目となり
ました。

令和 6 年 5 月 1 日現在

〈加入状況〉

岩手県 66 校 21,712 人

〈事故の際は〉

全国高P連賠償責任補償制度事故受付電話
0120-720-110 (24 時間 365 日受付)

岩手県高P連高校生総合保障制度

〈加入状況〉 令和6年5月10日現在 2,286人

Aプラン(病気補償あり) 62校 1,151人

Bプラン(病気補償なし) 57校 556人

Cプラン(自転車重点型) 56校 579人

〈お問い合わせ〉AIG損害保険株式会社盛岡支店

TEL 019-651-0584

一瞬一瞬の時間の大切
さを考え、いきいきと
した高校生活を送る手
助けをしたいと思いま
す。ぜひ皆さんにも聞
いていただきたいです。
学校、生徒、地域、
保護者が知恵を出し合
い協力しながら、色々
なことにチャレンジし
ていけたらいいな!と
思います。
皆さんのご意見を伺
いながら活動していき
ますので、これからも
ご理解ご協力をよろし
くお願い致します。



▲開校式典での「校旗授与」の様子



▲校歌を作曲した佐藤和夫氏(SaToMansion)との校歌客唱

SaToMansion(二戸市出身の4兄弟で
福岡工業・一戸高校の卒業生)の作曲による
新校歌を、生徒だけでなく私達保護者も一緒
に歌って、日々の生活、
一瞬一瞬の時間の大切
さを考え、いきいきと
した高校生活を送る手
助けをしたいと思いま
す。ぜひ皆さんにも聞
いていただきたいです。
学校、生徒、地域、
保護者が知恵を出し合
い協力しながら、色々
なことにチャレンジし
ていけたらいいな!と
思います。
皆さんのご意見を伺
いながら活動していき
ますので、これからも
ご理解ご協力をよろし
くお願い致します。

令和6年4月、いよいよ岩手県立北校高校が
スタートしました。二戸市の福岡工業高校と一
戸町の一戸高校が統合し、工業校舎(機械シ
ステム科、電気情報システム科)と総合校舎
(総合学科)あわせて、新入生97名、全校生徒
328名が新たな一歩を踏み出しました。
県北地区での市町村を越えての統合というこ
とで、統合前は各方面から様々なご意見ご助言
をいただきました。PTAとして、この少子化
の時代をどのように過すか、たくさんの可能
性を探り、足並みをそろえながら活動してい
きたいです。



栄光を めざして

岩手県立北校高等学校PTA会長

佐藤 佳子

「久慈工魂」を 忘れない

岩手県立久慈工業高等学校
前PTA会長

蒲野 隆



本校のPTA活動は、生徒が楽しんで活動する学校行事に合わせ実施しています。六月の校内体育大会では、活躍する子供達の姿を見ながらのドリンクサービス、十月の文化祭では、地域の方々と交流できるPTAバザーを実施しました。また、子供達と一緒に花壇整備を行う等、みんなが笑顔になれる機会を設けています。その他



▲綺麗にできました！



▲しっかり水分補給してがんばって！



▲いろいろ揃ってます！

久慈工業高等学校は昭和五十五年に開校して以来四十四年間、地域の産業発展の担い手を数多く輩出してきました。現在も野田村の手厚い支援を頂きながら、地域に根ざした活動を積極的に取り組んでいます。過去には、野田村の十府ヶ浜で開催していた砂祭りに砂の像を出品したことがあります。最近では地元の小中学校への出前授業や読み聞かせ、制作物の贈呈等を行っています。

本校のPTA活動は、生徒が楽しんで活動する学校行事に合わせ実施しています。六月の校内体育大会では、活躍する子供達の姿を見ながらのドリンクサービス、十月の文化祭では、地域の方々と交流できるPTAバザーを実施しました。また、子供達と一緒に花壇整備を行う等、みんなが笑顔になれる機会を設けています。その他

盛岡南高等学校よ 永遠に

岩手県立盛岡南高等学校
前PTA会長

伊藤 達也



昭和58年、東北初の体育科併設の高等学校として開校した本校は、42年の歴史をもって今年度で閉校、不來方高校と統合し新設校として生まれ変わります。友愛・克己・躍進を校训に時代の先駆者であった先輩方は、在学中はもとより、卒業後も国内外で活躍しています。昨年度は県高総体において団体4競技4種目で優勝、6競技7種目で入賞し総合優勝。約80名が国公私立4年制大学、120名が各種学校等に進学、20名が公務員他に就職しています。本年も自身の高みを目指し県内外各地から新入生が集いました。生徒一丸となり有終の美を飾ってくれるものと信じております。

昭和58年、東北初の体育科併設の高等学校として開校した本校は、42年の歴史をもって今年度で閉校、不來方高校と統合し新設校として生まれ変わります。友愛・克己・躍進を校训に時代の先駆者であった先輩方は、在学中はもとより、卒業後も国内外で活躍しています。昨年度は県高総体において団体4競技4種目で優勝、6競技7種目で入賞し総合優勝。約80名が国公私立4年制大学、120名が各種学校等に進学、20名が公務員他に就職しています。本年も自身の高みを目指し県内外各地から新入生が集いました。生徒一丸となり有終の美を飾ってくれるものと信じております。



▲南昌祭「お休み処」



▲大学・専門学校訪問

連携を図ることが困難でありながら、会員のPTA活動に対する理解と協力には感謝しかありません。PTA先輩方も同様に、学校と生徒を支えてきた故の盛南生たちのこれまでの活躍だったのだと。今日まで40年間、岩手の高校スポーツ、文化の一翼を担った盛岡南高校はいつまでも記憶に残り続けることでしょうか。本PTAも閉校同様に解散となります。新設校に負担無く引き継げるよう残りの時間を活動してまいります。

課題研究発表会の観覧や、講習会の参加等、共に学習する機会もあります。本校は来年度から、久慈東高等学校と統合し「久慈翔北高等学校」として新たな歴史を刻むこととなります。今後とも生徒の皆さんが新たな知識・広い視野を持ち、地域に貢献できる久慈工魂を持った人材に花開いていくことを願い、学校と地域・PTAが丸となって工業科の魅力・重要性を発信していきたいと思っております。

- ◇事務局
- 委員 大坂 英人 (大船渡東高校)
副委員長 中野 貴徳 (高田高校)
委員 佐藤 清一 (杜陵高校)
千葉 栄生 (千厩高校)
田澤 真澄 (葛巻高校)
山根 勝 (大船渡東高校)
佐藤 尚 (県高P連)
木村 智子 (県高P連)
- 〈編集委員〉令和6年度調査広報委員会
- 岩手県立高田高等学校PTA会長・中野 貴徳

編集後記

背中を見せられるよう

昭和55年、学校組合立高田実科高等学校として設立し、令和2年に90周年記念式典終え、100周年を目指して歩む伝統ある本校で、私自身も同窓生でありPTA会長として関わりを持っていることに感慨深くおきます。

平成23年3月11日に東日本大震災津波により、校舎等は全壊となりました。その後、県内はもとより、全国・世界から多大な支援と励ましを頂き、関係各位の努力により現在の場所での歴史を脈々と伝え、且つ、新しい時代を担う生徒達が元気に活躍しております。この姿をお届けすることが、応援頂いた皆様への恩返しになるのではないかと捉えております。

また、コロナ禍を乗り越え新しい生活スタイルやアフターコロナと言われる環境の変化、世の中の新しい流れに対し、PTA活動の工夫も必要ではないかと考える一方で、学校内の諸行事が以前の様相を取り戻していることから、まずは一歩ずつ進みだしました。

健全育成・広報・研修の各委員会と学年ごとに活動がなされ、併せて、その中からも保護者相互の交流が盛んに行われている例もあり、地域の交流の場にもなっております。

校訓「至誠・練磨・創造」のもと日々成長を続ける生徒達に負けぬよう、我々PTAもそれぞれの背中を見せることが出来るよう精進・努力を重ねることが求められていると、改めて感じています。